

## これまでの「にぎわい・きずな部会」における主な意見

(平成26年第1回～平成27年第2回)

### < まちのにぎわい・活気 >

- ・地域では、多くのイベントや行事によりつながりや信頼が生まれている。
- ・イベントは、継続していかないといけないが担い手が少ないのが課題。
- ・これまでの町会や連合単位の活動から、東成区がひとつになるような活動に発展できれば、本当のまちづくりになる。
- ・商店街を活性化させるために、外から人を呼ぶにはどうすればいいのかを話し合いたい。
- ・商店街のない地域では、独自の活動により多くの人が集まるお祭りやイベントをしている。
- ・まちに魅力がないと人が集まらない。東成区の地域資源である「暗越奈良街道」や「平野川」を活用して東成区のにぎわいをつくりたい。
- ・いろいろな地域や団体が同じような活動をしているが、日や場所を合せると違ったにぎわいが生まれる。行政が間に入って調整をしてもらえれば合わせやすくなる。

### < 防災 >

- ・これまでの震災訓練では、いざという時に役に立つのか不安がある。もっと実践的な訓練をしないといけない。
- ・参加してよかったと思えるような訓練だと、人が集まり、コミュニケーションが生まれる。中学生の参加をもっと促していきたい。
- ・同じ東成区内であっても地域特性が異なるため、その地域に合った防災計画や防災活動を進めていかないといけない。そして各地域がその情報をオープンにし、全体で共有していきたい。